

[佐賀県]

## 耳の日記念の集い in 伊万里 平成27年3月8日

3月8日（日）伊万里市民センターにて耳の日記念の集いが行われ、佐賀県内から多くの方に参加して頂きました。伊万里聴覚障害者協会の会員が実行委員となり、伊万里手話の会メンバーもサポートとして活動させていただきました。

開場時間前より多くの方が来られ、予約チケットの引き換えや当日チケット購入者もあり、開始時間になるまで多くの方が行き交う状態でした。



耳の日記念の集いが開会！！ 開会式典後、記念講演「114ヶ国旅行してきた怖い体験談」として塩野谷 富彦氏の講演があり、各国旅行をしての経験を話されました。皆さんにも、ためになる内容が沢山あったのではないのでしょうか？

そして、ミニ講演「手話で笑いのバリアフリー」として『ぷ～み～』の三宅 寿氏より笑いに包まれた、楽しい講演をして頂きました。

耳の日記念の集いは所々不備もあったと思いますが、参加していただいた皆様をはじめ、サポートをして頂いた皆様のおかげで無事終わることができました。 ご協力ありがとうございました。



伊万里手話の会 山口 美由紀

[大分県]

## 第47回耳の日記念大分県ろうあ者大会に参加して

大分県では毎年3月に「耳の日記念大分県ろうあ者福祉大会」が行われています。この大会は県内の各地区協会の持ち回りで聴覚障害者と健聴者が一緒に実行委員会を結成して行っています。今年はNHK大河ドラマ「黒田官兵衛」で一躍有名になった中津市



で開催されました。午前中は第1部の大会式典です。大会実行委員長の歓迎あいさつに続き大会会長あいさつがありました。続いて聴覚障害者を雇用している地元企業や地域の手話通訳者に対して感謝状が授与され、また協会の永年会員や功労者に対して表彰状が授与されました。

昼食をはさみ午後は第2部のアトラクションです。内容は開催地の実行委員

会で工夫したプログラムになっています。オープニングは地元の和太鼓の演奏、続いて少年少女合唱団が手話を交えての歌声が披露されました。また県内の手話サークルの仲間から踊りや寸劇、最後に地元で活動しているグループによる軽やかなブレイクダンスが披露されました。司会者から「ダンスのメンバーに聴覚障害者が居たのですよ」と紹介され、みんな気が付かなかったようでびっくりしていました。

最後に豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会と次回開催地への引き継ぎ式が行われ大会を終えました。耳の日大会は各地で開催することにより市民に対して聴覚障害者への理解と手話の普及をさせる目的があります。私も耳の日大会に出席してとても楽しく一日を過ごすことができました。実行委員会の皆さんご苦労さまでした。

宇佐手話サークル 松本 年明

[宮崎県]

### 第34回宮崎県手話サークル連絡協議会研修会

2月8日(日)、宮崎県立西都原考古博物館にて、県サ連研修会が開催され、88名が参加しました。



午前中は、熊本県在住の加藤正浩氏に、「私の生き立ちと手話の語り手として…」というテーマでご講演をいただきました。聴障ビデオマガジン『みるっく』に携わった経験をもとに、実際の映像を見たり、映像ができるまでの様子や苦労などを話されました。また、現在の活動や手話の豊かな表現について話され、最

後はサークル会員へのエールをいただきました。

午後は、『宮崎弁で話そう！』と題しての交流研修会でした。グループにわかれ、課題である宮崎弁での会話文の手話表現に挑戦しました。宮崎弁がわからなかったり、意味に合った手話は難しかったです、その後のグループ発表は、表情や具体的表現を含んだ個性豊かなもので大変面白く、勉強になりました。1日を通して様々なことを学び、多くの方々と交流を深められ、楽しく充実した研修会でした。

## 第42回宮崎県耳の日記念大会

3月22日(日)、宮崎市の清武町文化会館にて、耳の日記念大会が開催されました。まず、式典が行われ、大会宣言、大会決議が可決されました。続いて第2部では3名の意見発表、各団体の活動PR行われました。

午後の第3部は、映像作家の今村彩子氏に、「東日本大震災で被災時のろう者の様子」と現在の様子」というテーマでご講演をいただきました。被災されたろう者取材の様子を話され、映像も見ました。また自分のご経験を基に、近所の方々と交流し、絆を深めることが大事なのだ、と今村監督は語りました。

第3部後半では、サプライズゲストで「みやざき犬」のむうちゃん、かあくんが登場し、ダンスを披露したり、特別企画「写真コンテスト」や抽選会でプレゼンターを務めてくれました。

最後に、次回開催地への引き継ぎ式が行われ、閉会しました。2年ぶりの開催でしたが、多くの方々と久しぶりに交流ができ、様々なことに感動し充実した大会でした。

宮崎県手話サークル 嶋田 智子

### [鹿児島県]

## 鹿児島県手連一日研修会 (3月8日奄美市)



～南の仲間に関会いに行こう～

… 手話でつながることの楽しさ  
ありがたさ すばらしさ …

3月7日(土)、鹿児島からの参加者14名(聴障者3・健聴者3)、夕方6時発の船で鹿児島新港を出発し、8日の早朝5時に名瀬港着。港近くの港湾センターが研修会場です。

現地の参加者は、聴障者6名、健聴者12名。双方の聴障者・健聴者のバランスを考えて6にグループ分けし研修会は始まりました。

内容は、日常のサークル活動の参考にするために ① 言葉を作ろう（指文字カードを使って）② 集団じゃんけん ③ この漢字なんと読むの？ どんな意味？ ④ 合体するとどんな字に？ ⑤ 「運命の糸」を準備し楽しく行ないました。

研修が終わると、奄美の皆さんの車に分乗して昼食と観光出発です。昼食は、奄美の郷土料理の鶏飯。おいしい上に、何杯でもお代わり自由でした。その後、干潮の時（しかも3月前後だけとか）しか見られないハートロックの見学。サンゴ礁が波の浸食によってハート形の潮溜まりに。深く、透き通ったハート模様



交流会には研修や観光に参加できなかった、聴障者・健聴者の方々も楽しんでおられ、にぎやかなやり取りが続きました。奄美組、鹿児島組、ほとんどがお互いに初対面だったのですが、ずっと前から知り合いだったような盛り上がりでした。奄美の聴協・サークル会員皆さんからの手作りのプレゼントには、一同大感激です。その後も語り合い、再会を誓い合ってお開

きにしました。船の別れは、ちょっと寂しく・・・乗船までのわずかの時間を惜しむように、あちこちで「手話の花」が咲き、出航すると、お互いに見えなくなるまで、手を振り合っていました。

念願であった奄美の皆さんとの交流が、やっと実現しました。一日中いっしょに活動いただいた方、都合のつくところで参加いただいた方、それぞれに一人お一人の思いが感じられて、本当にありがたいことでした。手話に関わり



がなければ、全く縁もゆかりもないお互いですが、**「手話でつながり合っていることが、こんなにも楽しく、こんなにもありがたく、そして、こんなにもすばらしいことなのだ」**ということを肌で感じた一日研修会でした。

### **これが噂(?)のハートロック**

指宿手話サークルなの花 出 森 俊 郎

{熊本県}

熊本県下『耳の日ふれあい'15』の紹介  
平成27年3月1日(日) 13:00~15:00  
イオン八代ショッピングセンター(センターコート)にて  
今回は八代わかぎの耳の日事業の紹介です。  
元九手連の事務局前浜さんからのコメントでお届けします。

八代市の耳の日事業は、ろう問題を広く市民の皆様にご存知いただくため、昭和62年に本町のアーケード街で始め、開催場所は福祉センターや社会福祉会館、そしてイオン八代店センターコートと変わりましたが、雨が降っても槍が降っても、毎年続けており、今年で29回目を迎えました。毎年八代のろう協と手話サークルとであーでもない、こうでもないという協議、練習を重ね、内容を詰めていきます。今年には体験発表、手話ソング(手の歌)、ミニミニ手話教室、ろう者の日常を切り取った劇などを催しました。

中央で大きな花火を打ち上げても、ろう者が住む地域が変わらなければ意味がありません。私たち手話サークルはろう者と向き合い、ろう者と共に生きるパートナーであるべきだと思います。そのために私たち八代わかぎはろう協と共に耳の日事業を続けていくことでしょう



[長崎県]

第46回 耳の日福祉大会 in 長崎  
3月1日(日) 長崎原爆資料館ホール  
午前には記念式典で、組織功労者表彰・基調報告、そして大会スローガンを、満場一致で採択しました。

午後は、記念講演：長崎地域生活定着支援センター所長 伊豆丸剛史 氏が「刑務所から出るのが怖かった・・・」～罪に問われた人たちの支援を～講演されました。刑務所のドキュメンタリー番組を見せて頂いたり、実際に支援された事例を話されました。 他人事ではなく、身近に起こりえる事だと、深く考えさせられる内容でした。

アトラクションでは、宇宙亭福だんごさんの手話落語が行われました。通訳はありませんが、その表情・動き・手話表現で会場は大爆笑でした。また「けいこ場 風景」と題して、選ばれた4人のろうあ者が、師匠に「道」と言う題の落語を教わり、一人ずつ舞台上に上がりました。それぞれの方が見事で、個性的な表現を披露され、師匠に負けない様な手話落語で、会場を笑いの渦に包んでいました。とても有意義で、楽しい時間を過ごしました。

長崎県 南島原手話サークル 草野



#### <編集後記>

本年も火山の噴火や、地震などの天変地異も日本各地で発生している状況があり、防災・減災の意識を高め、聴覚障害者の方々と一緒に、勉強し知識を深める必要があると思われます。今後の大会や研修会で、さらに技術や知識を深めて行きましよう。

「はっけん」発行が遅くなり申し訳ありませんでした。色々とアクシデントも発生しましたが、皆様のご協力でようやく発行する事が出来ました、誠にありがとうございました。

九州手話サークル連絡協議会

(事務局) 〒861-0143

熊本県熊本市北区植木町大和 34-2

森 保夫

発行責任者：中元 教博

広報担当者：草野 徳 (長崎)

発行年月日：平成27年6月9日